

「安心して過ごせるまちに」

岩沼市立岩沼中学校 1 年

三浦 蒼海さん

毎日のテレビのニュースでは、日々新しい事件や事故の話題が報道されています。このようなニュースを見て、自分事として考えてみたことはありますか。きっと、他人事だと思っている人の方が多いのではないのでしょうか。

私たちの地域には、毎日の登校を見守ってくれている、ふれあいパトロールという方々がいます。ふれあいパトロールの方々は、朝早くから毎日、通学路の交通量が多い場所や信号機のない横断歩道に立ち、私たちの安全を守ってくれています。私の通学路には、ふれあいパトロールの方が二人おり、一年生の時から毎朝、あいさつをかわしてきました。

ふれパトの活動は、私たちの毎日の登校を見守るだけではありません。ふれパトは、地域の人にあいさつする活動もしています。当たり前のように思うかもしれませんが、私たちなら普段あいさつをしない自転車に乗っている人にまであいさつをしています。

このような、あいさつをする活動は、学校内だけでしたが小学校でも行われていました。大きな声で目を見てあいさつしようと、お昼の放送で呼びかけられていました。そのため、私は友達と一緒にとても頑張ったものです。それが習慣づいたのか、地域の方々にも、以前よりも元気なあいさつが出来るようになりました。さらに、あいさつは防犯対策の一つにもなります。あいさつをすることで「監視されている」という感覚を与えることができるからだそうです。防犯カメラなどの機器よりも、あいさつの方が、防犯効果を高められると知り、驚きました。

このふれあいパトロールの活動と、あいさつ運動を踏まえて、私にはどのような防犯対策が出来るのか、考えました。それは、やはり、あいさつだと思います。私があいさつしたことによって、その人が他の人へあいさつをするきっかけになり、そのようなあいさつの輪が広がって、地域の多くの人があいさつをするようになれば、それはきっと大きな防犯対策の一つになると思うからです。

犯罪というものは、「この地域では起こるわけがない！」と想着いても、どんな場所でも起こる可能性は十分にあります。もしそのようなことが自分の周りで起こった時にどうすればいいのか、そう考えることが「防犯」だと思います。なので、まずは他人事のように考えずに、自分事として考えてみる、そうすれば、今までの防犯に対する考え方が変わってくると思います。あいさつを少しだけ頑張ってみるだけでも、それはきっと、多くの人に広がっていきます。少しずつでも、地域全体で防犯対策に取り組み、明るく安心できるまちに変えていきたいです。